

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 地域高規格道路 <small>たかやまげろ</small> 高山下呂連絡道路 一般国道41号 <small>いしうら</small> 石浦バイパス	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 中部地方整備局		
起終点 自：岐阜県高山市久々野町久々野 至：岐阜県高山市千島町	延長 9.2km			
事業概要 一般国道41号は、愛知県名古屋市を起点とし、愛知県犬山市、岐阜県高山市などの主要都市を経て富山県富山市に至る延長250kmの主要幹線道路です。 本事業の一般国道41号石浦バイパスは、岐阜県高山市久々野町から岐阜県高山市千島町に至る延長9.2kmのバイパスであり、冬期交通の安全性・信頼性の向上、交通事故の削減、救急医療活動の支援を主な目的として事業を推進しています。				
H12、15年度事業化 H12年度都市計画決定 H16年度用地着手 H27年度工事着手				
全体事業費 425億円 事業進捗率 11% 供用済延長 0.0km				
計画交通量 16,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 324/367億円 (事業費：289/332億円) (維持管理費：35/35億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 479/479億円 (走行時間短縮便益：394/394億円) (走行経費減少便益：69/69億円) (交通事故減少便益：16/16億円)	基準年 平成24年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.2~1.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.3~1.6(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.4~1.6(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.0~1.5(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=1.1~1.7(事業期間±20%)				
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・利便性の向上が期待できるバス路線（濃飛バス）が存在する。 ②物流効率化の支援 ・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路の位置づけあり。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ④個性ある地域の形成 ・主要な観光地（高山市等）へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（高山赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・現道等の防災点検箇所が解消される。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。				

関係する地方公共団体等の意見

岐阜県知事の意見：

他事業も含めた県内全体の優先度を考慮して、計画的に事業を実施するようお願いします。
また、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」することは「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 国道41号現道は、平面・縦断ともに道路線形が厳しいため、積雪時には大型車のスタックの危険性が高い。
- ・ 国道41号現道は急勾配・急カーブが連続しており、特にヘアピンカーブを中心に事故が多発している。
- ・ 一之宮地区から高山市街地への主要幹線道路は、国道41号しか無く、国道361号へ迂回する場合、約8分の遅れが発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率11%、用地取得率60%(平成27年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 平成27年度より、高山市久々野町久々野～高山市千島町間（延長9.2km）のトンネル工事に着手し、早期完成に向けて用地買収及び工事を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

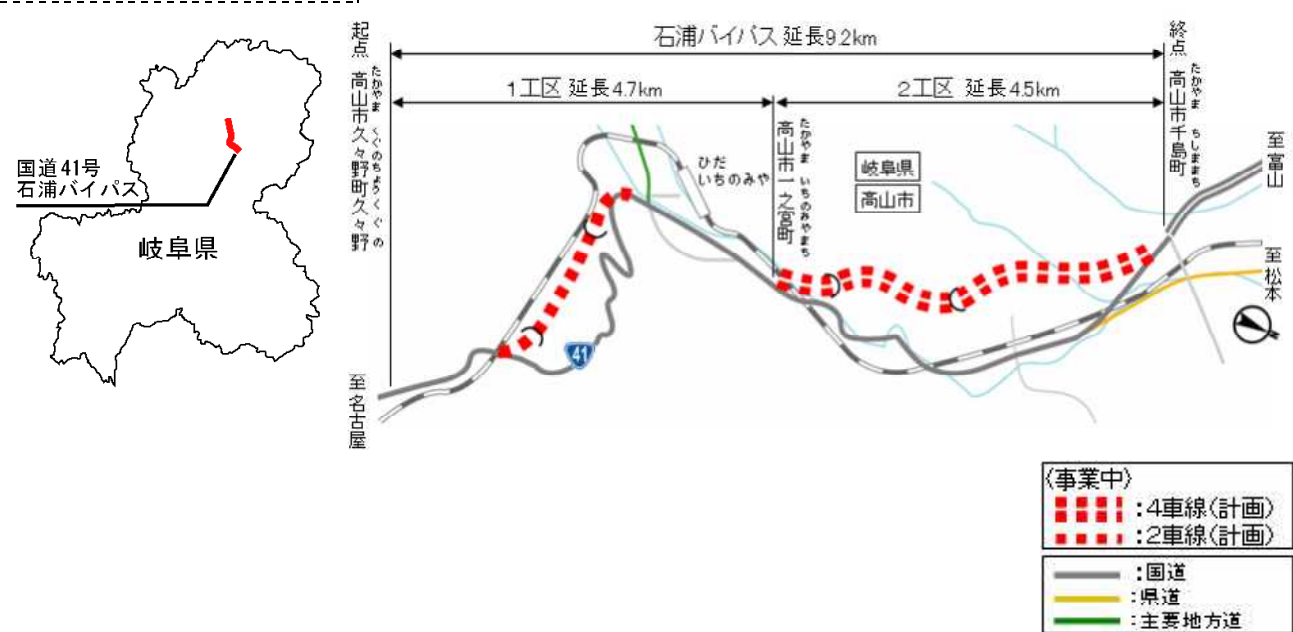
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。